

摂 津 市 議 会

議会運営委員会記録

令和4年4月22日

摂 津 市 議 会

議 会 運 営 委 員 会 記 録

1. 会議日時

令和4年4月22日（金） 午前10時 開会
午前10時58分 閉会

1. 場所

第一委員会室

1. 出席委員

委員長	村上英明	副委員長	香川良平	委員	増永和起
委員	西谷知美	委員	光好博幸		
議長	南野直司	副議長	三好俊範		
議員	森西 正				

1. 欠席委員

なし

1. 出席した議会事務局職員

事務局長 橋本英樹 同局次長 大西健一
同局主幹兼総括主査 香山叔彦

1. 案件

タブレット端末に係る協議について

(午前10時 開会)

○村上英明委員長 ただいまから議会運営委員会を開会します。

本日の委員会記録署名委員は西谷委員を指名します。本日の協議事項は「タブレット端末に係る協議について」であります。まず、事務局から説明をお願いします。

香山主幹。

○香山事務局主幹 それでは、お手元の資料に基づき説明させていただきます。

まず、協議内容につきまして、本日はタブレット端末の必要性を中心にご協議いただきたいと思います。また本日の協議内容を各会派へ持ち帰っていただき、早ければ5月の連休明けに次回のご協議を設定できればと考えております。

それでは資料1「タブレット端末に係る協議日程(案)」をご覧ください。協議日程につきましては、4月から5月にかけてのスケジュールをお示ししております。日程(案)では5月下旬までに4回の協議枠を設けておりますが、例えば次回の協議で意見の集約が図られた場合は、そこで終了となることから、3回目以降の協議は不要となるものでございます。

簡単ではございますが、協議日程(案)の説明については以上でございます。

次に、資料2「タブレット端末導入にかかる費用面について」をご覧ください。

タブレット端末の導入にあたっては、購入とレンタルの2通りの方法がございます。端末の機種やデータ通信量などにより金額の幅があるため、あくまで概算となりますが、購入の場合は、端末関係費で約500万円、文書共有システム導入費で約250万円、合計約750万円の初期費用と、月額費用の約6万円を含めまして、3年間の総額は約966万円となります。レンタ

ルの場合は、端末関係費で約300万円、文書共有システム導入費で約250万円、合計約550万円の初期費用と、月額費用の約15万円を含めまして、3年間の総額は約1,090万円となります。

次に、資料3「議会におけるタブレット端末の導入状況について」をご覧ください。

本資料は、大阪府内でタブレット端末を導入している市議会をピックアップし、主に費用面及び導入後の課題について整理しております。その中で導入後の課題につきましては、「想定よりも活用が進んでいない」「画面が小さく資料によって見づらいものがある」「ペーパーレス化につなげていない」「事務局職員のフォローが都度必要になる」など聞いております。今後、本市議会で協議するにあたりましては、これらの課題も含めて導入の可否を議論していく必要があると考えております。

以上、タブレット端末についての説明とさせていただきます。

○村上英明委員長 ただいま事務局から概略説明がございましたけれども、タブレット端末の必要性を中心に協議していきたいと思っております。それにつきましては、まず各会派よりご意見を賜りたいと思いますので、よろしく願いをいたします。

何かご意見等ございますでしょうか。

光好委員。

○光好博幸委員 そもそも論として、タブレット導入の目的であったり、効果的なところを、最初に共有したほうがいいのではないかなと思うんです。今議論するのではなく持ち帰ると私は認識しているんですけども、そのあたりはどうなんでしょう。

○村上英明委員長 大西局次長。

○大西事務局次長 タブレットの導入目的について委員で今お話いただければと

思っております。事務局が考えておりますタブレットの導入の目的につきましては、まず1点目、ペーパーレス化を図っていくものでございます。2点目でございます。これはタブレットではなくても必ずできないかと言われればそうでもないんですけれども、やはり危機管理の観点から、今、貸与させていただいているパソコン等につきましてはカメラ機能がございませんので、今回タブレットをもし導入するとなれば、カメラ機能を搭載することも踏まえて、オンラインでの委員会開催も検討していくことが目的になってくると思っております。以上2点が今回のタブレットを導入する目的ではないかと事務局としては考えているところです。

もう1点のご質問でございます。今回持ち帰っていただくお話なんですけども、タブレットに関しましては市議会議員皆様に全員貸与と考えておりますので、本日の皆様のご議論を踏まえて、各会派に持ち帰っていただいて、タブレットが議員お一人お一人に本当に必要なのかをご議論いただいた後に次回の議会運営委員会で導入に向けて一步踏み出すのかどうかを決めていただければと考えているところでございます。以上でございます。

○村上英明委員長 光好委員。

○光好博幸委員 分かりました。そういった意味でもその目的の共有あるいは効果と、導入してどれだけペーパーレス化を図れるのか、あるいは今おっしゃったカメラ機能搭載でいくと今貸与されているパソコンに置き換えるのかどうかも含めて全部ここで検討すると理解しました。ありがとうございました。

○村上英明委員長 ほかございますか。
増永委員。

○増永和起委員 最初にこのお話が上がってきたのは、以前から「タブレットに切り替えていく話があるよ」という話がありました。そのことについて、摂津市としてもいずれ議論していかななくてはならないんじゃないかというご意見の議員もいらっしゃる。それはこの話が議題としてあがってくる前の前提のところであったと思うんです。そういう中で来年度、今貸与されているパソコンの更新時期がくる。その更新が終われば5年間はそのパソコンでいくため、タブレットを導入するかしないかについて更新の時期と合わせて考えたほうがいいことからこの話は出てきたと理解しております。来年度の更新はタブレットに切り替えずに見送ったとしても、5年間はもうタブレットは使えないことでもないと思うんです。お聞きしたいのは、もちろんこれから話で、はっきりしたことは何もまだ出てないと思うんですけど、おおよその見通しで結構ですが、タブレットの費用面も書かれているんですけども、このタブレットについては分かるんですが、市として来年度に更新をしていく分と比べると、どちらが高くなるのか。それと、両方持つのは費用として大変なことになると思うんですけども、このタブレットは、もし更新の時に議員にはパソコンを貸与しないでタブレットのみとするとしたら、タブレット費用の出どころはどこになるのか。仮に更新はパソコンそのまま新たに貸与してもらい、それ以外にタブレットを持つことになるとその費用の出どころはどこになるのかについて伺いたいと思います。

○村上英明委員長 大西局次長。

○大西事務局次長 不確定な要素も多々ございますので、あくまで断言はできません。

んけれども、参考程度にお聞きいただければと思っております。

まず費用の面に関しましては、現在で申し上げますと、情報政策課から貸与していただいておりますので、議会費としては一切かかっていないのが実情でございます。令和5年度に基幹システムが更新となっておりますので、必然的に貸与させていただいているパソコン等に関しましても更新となっております。今の流れでいきますと、このまま同様な形で情報政策課から貸与していただく流れになっていくと考えております。

もう1点でございますけれども、タブレットの導入費用等、このまま市内のパソコンを貸与していただいた時のコスト的なもので申し上げますと、これもなかなか正直精査しづらいところがございます。ざっくりで申し上げますけれども、現在の貸与していただいているパソコンで約20万円くらいの導入コストがかかっております。今回タブレットの方に関しましては35万円くらい1台当たりかかっておりますので、15万円くらいはコスト増になると考えております。貸与しているパソコン1台が約20万円なんですけれども、家電ショップに行きますと安いのも置いてあると思います。性能自体はたいして変わらないんですけれども、やっぱりセキュリティーの部分はかなり強固にしているので、その部分に関してのコストがかかっているようでございます。

あともう1点ですけれども、今後5年の更新をこのまま今のパソコンの貸与にした時に、タブレットの導入がその5年を待たなければならないのかとのお話がございました。そちらに関しましては、例えばですけれども、市長部局のタブレット導入

により、ペーパーレス化をどんどん推進していきましようとなった場合に、議会もタブレットをどうするか議論をそこするのも一つかと思っています。現在のタブレットの導入はあくまで議員の皆様のみ貸与となっておりますので、仮に本会議、委員会にタブレットを持ち込んでいただいて議論していただくとなっても、理事者はそのまま既存の予算概要であったり予算書を持ち込んでの対応となりますので、歩調を合わせてやるのも一つの案と思っていますところでございます。以上でございます。

○村上英明委員長 ほかございますか。

増永委員。

○増永和起委員 よく分かりました。ありがとうございます。私が聞いているのは、理事者側と議会が同じシステムを更新する、タブレットを入れるならそういうやり方をしないとなかなかペーパーレス化も難しい話となることを聞いています。今回は摂津市議会だけのタブレットの問題について、今私たちは議論しているとのこと。その辺はよく分かりました。危機管理の問題は、もう一つの目的で言われていたんですけど、これはタブレット以外でも考えられるかもしれないとのお話も伺っております。また、今急いで議会が先行してタブレットを持つことは費用がよりかかりますので、やはり市民の皆さんへの説明責任があると思うんです。このタイミングでより高い費用になるけれどもタブレットを導入した理由について、説明責任を私たちは果たしていけるのかとの観点も含めて考える必要がありますので、会派に持ち帰って検討したいと思います。ありがとうございます。

○村上英明委員長 ほかにございますか。

西谷委員。

○西谷知美委員 増永委員と同じでパソコンに係る経費はどれくらいなのかを聞こうと思っていて、今お聞きしたので、どのタイミングでするかも、他市の事例も参考に持ち帰って議論はしたいと思っています。ペーパーレス化に関してなんですけども、完全にペーパーレス化は難しいかもしれないんですけど、例えば事前に、この議論に関して資料を持ってきた上で対面で説明していただく「人のコスト」で考えると、大体のことを資料とともに文言でもらってても十分理解できる内容だったので、タブレット導入で少しずつペーパーレス化はできると思うんです。そういう意味で負担軽減につながるのであればこのタイミングで導入するのはどうなのかと考えていたんですが、結局理事者側も同じ状況にならないとあまりうまくいってないとお聞きしたので、それも併せて会派に持ち帰って議論しようと思っています。以上です。

○村上英明委員長 先ほど金額の面で、大西局次長が1台20万円と、これは5年リースでの20万円ということですのでよろしいんですね。

大西局次長。

○大西事務局次長 その辺も踏まえてあまり精査していない数字ですので、そこを追求されますと私もお答えはしづらいところがあります。今確実に5年リースが20万円なのかと言われてしまいますとなかなか「はい、そうです」と簡単にお答えはしづらいです。申しあげれるのはタブレット1台の費用よりは安いですということだけです。

○村上英明委員長 森西議員、何かございますか。

○森西正議員 導入した場合に費用がかかることが市民にとってプラスかどうかも考えていかなあかんと思います。事務局も導入することによって、例えば職員の増員をしなければならないとか、もしくはそれによって残業が発生してくることがあれば、導入することがいかなこととの部分もあります。総合的にいろいろ考えながら、将来的にはこのタブレットはいつかの段階で必要になってくるかも分からない、それが今なのか数年後なのか、導入するのかどうかも考えていかなければならないと思います。

○村上英明委員長 ほか、よろしいですか。光好委員。

○光好博幸委員 コストの話が出てきたんですけど、ちょっと抽象的な話で申し訳ないけど、導入することによって多分性能とか機能によって左右されると思うんです。議会の効率化とか、あるいは質の向上、タブレットを入れることによって増永委員もフリップみたいなものを出して「これ見てください」とされていますが、デジタル技術を駆使することによって、例えば議場内のビジョンで資料共有して「これ見てください」とかそういうことの議論と、ペーパーレス化と危機管理とコストも含めて、導入効果とか目的がどの位置にあるのかによっても議論が変わる気がするんです。そもそも論としてどんなものを入れるかから議論するのか、今回ケーススタディとして出している、あくまでもペーパーレス化として手元で資料が共有できるレベルなのかを、もう一度確認だけさせてください。

○村上英明委員長 大西局次長。

○大西事務局次長 光好委員からのご質問でございます。効率化・質の向上でござ

います。本日資料3にも記載させていただいておりますが、ペーパーレスにできるかどうかを聞いているものでは全くなくて、入れてどうでしたかと各市の事務局に聞いております。実際のところ事務局が他市の事務局に確認し、タブレットを導入して目覚ましく何かが良くなったことは正直あまり聞いておりません。その効率化であったり質の向上が、我々事務局としてもなかなか見い出せないのが感想でございます。もう1点の、例えば委員会の場でパワーポイントを展開したりするのは、それはタブレットとは別の話と考えているところでございます。以上でございます。

○村上英明委員長 光好委員。

○光好博幸委員 ありがとうございます。現時点で、そういうことで理解しました。どうしても思うに、議会でのデジタル化であるとか、理事者側でも同じようにしないと質の向上を図れないと改めて認識しましたし、現時点で今タブレットを入れたとしてもそこには届かないことを理解しましたので、入れたことによる限定的な効果も含めて持ち帰りたいと思います。ありがとうございます。

○村上英明委員長 よろしいですか。

三好副議長。

○三好俊範副議長 意見でも何でもありませんですけど、情報共有といいますか、やり方の話を僕の考え方もまじえてお伝えしたいと思うんです。これはあくまで議会として導入するかどうかで、どういう形でやるのかは、それも含めて我々が考えないといけない話だと思います。あくまで導入する導入しないの2択ではなくて、導入するにいたっても例えば箕面市のように、完全ペーパーレス化をやっていくのか、それとも吹田市のように併用してやっていくのか、

いずれにしてもやり方がいろいろあります。導入しないにしても、先ほど光好委員からもありましたけど、現状ではタブレットなどを議場に持ち込めませんが、紙の代わりに個人でお持ちのタブレットを持ち込めるようにするであるとか、やり方は千差万別と思っています。やり方一つとっても例えば箕面市みたいに完全にペーパーレス化しても、すべての議員がそれについてこれるのか、先ほど光好委員からもありましたけど、タブレットの使い方はすごく複雑なので本当に慣れている人であればものの1秒から2秒で終わる話だと思います。ただそれについていけないとなかなか導入するメリットとしても費用負担の点から考えた場合は少ないと思います。先ほど局次長からもありましたけど、ほかの部局がそれに協力してもらえるのかとか、今後議会側から持ち掛けないといけない話だと思います。例え導入するとしても多分何をするにしてもメリットとデメリットがあると思います。導入するにしてもおおよその金額は出してもらってますけど、ある程度高い金額なんじゃないかと思います。例えば、家に持ち帰って使えるやり方だったらセルラーモデルです。それやったら費用面で高くなりますし、もう少し限定的に安いやり方でやるとか、本当に多岐に渡ると言うんです。そのメリット・デメリット一つ一つ検証していかないと恐らくテーブルにも乗っていかないと僕は思っているんです。例えば提案なんですけど、次回、事務局には手間とは思いますが、こういう形にしたらこういうメリットがあります、ただデメリットとしてこういうことがあります、この使い方ならメリットはこれで、ただ費用負担はちょっと上がりますという資料を出してもらって、導入し

ない場合に関してもやり方はいろいろあると思うんです。これを機に紙の量を減らしていくであるとか、先ほど西谷委員からもありましたけど、次の機会に具体的な例を出してもらった方がより想像しやすいと思っております。以上です。

○村上英明委員長 先ほど三好副議長からメリット・デメリットの件等々のお話があったんですけども、その辺は事務局として資料づくりはできますか。大西局次長。

○大西事務局次長 一応可能です。ただメリット・デメリットも例えばAさんにとってはメリット、Bさんにとってはデメリットみたいになってきますので、かなりのパターンになってきます。ざっくりとした分であればご提供させていただくことは可能かと思えます。あくまでこれは事務局目線、一般的なお話でしか多分出せないと思っているところでございます。

○村上英明委員長 そのレベルで、一旦資料を作っていただいて、それも含めて協議もしていきたいと思っております。とりあえず今日は他市の導入状況とかもありますし、費用面を記載した資料2の分もございますから一度持ち帰っていただいて、総論的に使用目的であるとか費用対効果であるとか市民への説明責任とか、その辺も含めて一度会派に持ち帰っていただいて、それに応じてまた各会派からご意見を賜りながら次の議会運営委員会で協議をしていきたいと思っておりますが、その辺でどうでしょうか。

増永委員。

○増永和起委員 最初にも言いましたけれども、今回のタブレットを導入するかしないかに関しては、来年度に更新時がくるからそれまでにある程度の答えを出すための会議だと私は認識をしてたんです。今

副議長がおっしゃった大きな視点で考えると、もうちょっとスパンを長くして摂津市議会としてペーパーレス化、それから議会の質向上のためのデジタル化、そういうことも含めてであれば来年度までの話ではなくて、もう少し長い形で考えていく中身と思うんです。とりあえず来年度の購入の時までにどうするのか、答えを出さないといけないものが一つあるんじゃないのかと思うんです。大きく考えて今後の問題として摂津市議会の中でデジタル化をどうしていくのかの話をしっかりやっていくのは、切り分けないとなかなか着地点が見えてこないのではないかと私は思うんです。その次の時までに持ってくる中身としてどういうことを持ってきたらいいのか、会派の中で話し合う中身を今後の大きなことを含めて話をするならしっかり議論していかなきゃいけないけれども、来年度までの更新時にどうするかの話だったら現在の状況を考えてとなると思うんです。その辺を少し整理していただきたいのが一つあるのと、議会だけがタブレットを持つことになるとタブレットの中にいろんな機能が必要になりますが、いろんな対応は情報政策課がしてくれるのか、どこの課になっていくのかについても質問したいと思えます。

○村上英明委員長 今、なぜこの時期に議論しているのかは、来年度のノートパソコン更新のタイミングに合わせて、9月ぐらいまでに予算編成の絡みがあるので、導入するのであれば決断しなきゃいけない、導入しないのであれば別に議論は今後やっていてもいいと思っております。導入する時の費用を計上しなければいけないので、今このタイミングの議論なんです。

大西局次長。

○大西事務局次長 タブレットを導入した時のメンテナンスとか保守の部分の対応と思うんですけど、議会が独自にタブレットを導入した場合は、一義的に事務局で対応させていただきます。最終的には、購入する時にはもちろん保守の契約もさせていただきますので、そこでの対応になってくると考えております。

○村上英明委員長 増永委員。

○増永和起委員 分かりました。時期のことがあると思うので、着地点をどこにするのかは整理していただきたいのと、それから今のお話だと議会事務局にかなり負担がいくと、私のように機械に慣れていない人間がこれはどうしたらいいんだと聞きに行くこともふえてくることは、先ほど森西議員もおっしゃいましたけど想像がつくことが分かりました。

○村上英明委員長 今後、導入するならばどういう使い方をするのか、どういうソフトを入れるのかとかいろいろ議論がありますので、できれば次の議会運営委員会の時には導入するのかについて方向性を取らせていただきたいと思っております。その辺も含めてお持ち帰りいただいて各会派に議論をお願いしたいと思っております。よろしいですか。

光好委員。

○光好博幸委員 今のこの状況の中で持ち帰って会派に意見を出す前提として、先ほどおっしゃってました、今貸与されているパソコンについてどう扱うのかが一つのポイントになると思うんです。私の認識では、それも議会運営委員会で決めたら良いと理解したんですけど、そうではないようにも思われます。先ほどの費用の話にもありましたけど、タブレットを入れることによって今のパソコンと置き換わること

と、今のパソコンを持ちながらいわゆるペーパーレス化も含めてタブレットを入れることは大きく違うと思うんです。そういったことも含めて、なかなか判断しづらいというか、こういう状況であれば入れたら良いとの前提条件をいれないとなかなか会派の意見がまとまらないと思うんですが、いかがでしょうか。

○村上英明委員長 暫時休憩します。

(午前10時35分 休憩)

(午前10時57分 再開)

○村上英明委員長 それでは、再開します。先ほどいろいろご議論等、ご意見も賜りました。導入するかしないかの検討をするにあたってのメリット・デメリットの資料を事務局で作っていただいて来週末には各委員にお渡ししていきたいと思っています。メリット・デメリットの資料も含めて、そして今日お渡しをした資料等々も含めて、次回の時には今の段階でこのタブレットを導入するかしないか結論も含めて、各会派にお持ち帰りいただいてご議論をしていただきたいと思っています。

以上で本委員会を閉会いたします。

(午前10時58分 閉会)

委員会条例第29条第1項の規定により署名する。

議会運営委員長 村 上 英 明

議会運営委員 西 谷 知 美